

病後児保育室「たいよう」のご利用について

たいようこども園

*病後児保育とは

子どもが病気にかかり、急性期を過ぎて『回復期』に入った時、またケガの回復期で集団生活が困難で保護者が仕事のために家庭で養育できない時に病後児保育室でお預かりします。

*利用条件および対象となる病気やケガの範囲

- ・風邪や下痢など、子どもが日常的にかかる病気（風邪・扁桃腺炎・気管支炎等）
- ・水ぼうそう、風疹、おたふくかぜなどの感染症の回復期
- ・喘息などの慢性疾患
- ・やけど、骨折やケガなどの外傷性疾患
- ・前日38.5℃以上の発熱があったが朝までに熱は下がった。自宅で様子を見た方が望ましい。

*お問い合わせ・予約：たいようこども園 TEL:079-662-4835

登録方法	事前登録（直接、たいようこども園に登録してください。） *当日利用時に登録もできますが、事前登録をいただいていると利用初日等スムーズにご利用いただけます。
登録料	無料
登録期間	2021年登録日～2022年3月31日
保育利用時間	平日（月～金） 午前8時30分～午後5時 土曜日・日曜日・祝日、12月29日～1月3日、たいようこども園の休園日はご利用いただけません。
利用方法	電話予約 午前8時～利用前日の午後 *在園児の方の予約も前日をお願いします。
利用料金	2000円（生活保護世帯・市民税非課税世帯には免除制度があります。） *たいようこども園在園児は、原則園が負担します。

*登録からご利用まで

- 1.病後児保育室「たいよう」利用登録申請書をたいようこども園もしくはたいようこども園HPより入手して下さい。
（養父市HPからも入手できます。）
- 2.たいようこども園へお電話で空き状況の確認と予約をして下さい。
- 3.医療機関にて、病後児保育室が利用可能であるか診察を受けて「医師連絡票」を記入してもらいます。
（医師連絡票の作成料は別途必要となる場合があります。）
- 4.「利用申請書」に必要事項を記入の上、「医師連絡票」を持ってご利用下さい。

- ・ご利用予定日にご利用の必要がなくなった場合は、**必ず朝8時までにご連絡**ください。
前日に体調が回復し、利用をキャンセルされる場合も必ずご連絡ください。

*持ち物

【必ず持ってくる持ち物】

- ・着替え（2セット）必ず名前を記入してください。
- ・タオル（2～3枚）必ず名前を記入してください。
- ・昼寝用のバスタオル（敷き用）バスタオルまたはタオルケット（掛け用）
- ・水筒（その他、飲用できる飲み物。）
- ・飲食可能な食べ物。（市販のうどん、離乳食、パンなど。食べられる分を持って来てください。）
- ・汚れた衣類などを入れるビニール袋2枚（スーパーなどの袋に油性マジックで大きく名前をかいいてください。）
- ・おしぼり

【必要な方のみ持ってくる持ち物】

- ・お薬（医師から処方されている場合のみ。）ただし、発熱時の坐薬・内服薬は、お預かりできません。
- ・紙オムツ8枚程度（下痢などの場合多めに持参してください。）
- ・おしりふき（パックに名前を記入してください。）

*利用上の注意事項

- ・お預かりしている間に、医療機関で受診が必要と判断した場合、病状の変化がみられた場合には、保護者に連絡させていただきます。お迎えをお願いします。
- ・病状の悪化、緊急時には、保護者へ連絡のうえ、受診させていただきます。この場合は、医療費の自己負担金等は保護者負担となります。
- ・病後児保育室のご利用の送迎は、保護者が行ってください。（病状の確認を行います。病状の分かる方の送迎をお願いします。）病後児保育室「たいよう」は、乳児センターにあります。玄関は、**通常保育玄関とは別にあります**ので必ずそちらを利用してください。

～こんな場合はお預かりできません～

- ・例）利用前日37.5℃の発熱があり、今日朝37.9℃の発熱がある。この場合は回復期とは言えず、体調が悪化していると考えられるため、お預かりできません。
- ・例）利用前日午後から38.7℃の発熱があり、解熱剤を使用し今朝37.0℃になった。この場合は、解熱剤で下げているため回復したとは考えられないため、お預かりできません。
- ・例）昨日から、食事・水分が取れず、ぐったりしている場合、急変する可能性があるため、お預かりできません。

*感染性胃腸炎（ノロウイルス、ロタウイルスなど）、麻疹につきましてはご利用を頂けません。

“入室日の朝の体温が38℃を越え、朝からぐったりし、食事がとれない症状や、感染症の初期（発病より3日以内）の時、利用当日症状がぶり返すなど再度受診が必要と思われる場合は、お預かりできない場合があります。”